

経過報告

- H26. 11 まち・ひと・しごと創生法 施行
- H26. 12 まち・ひと・しごと創生長期ビジョン・総合戦略（国）策定
- H27. 4 喜多方市地域創生・長期ビジョン策定市民会議の設置
- H27. 9 喜多方市長期人口ビジョン策定
- H27. 10 喜多方市総合戦略策定
- H30. 2 喜多方市総合戦略改訂（第2版）

○喜多方市長期人口ビジョン

- ・2040年で人口37,000人以上、2060年で人口30,000以上を確保する。

○喜多方市総合戦略（H27～H31）

- ・上記の目標を達成するため「安定した雇用を創出する」「新しい人の流れをつくる」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「安心な暮らしを守るとともに、周辺地域との連携を図る」「将来を担う多様な人材を育成・確保する」の5つの基本目標、具体的施策等を定め、各種事業を展開する。

平成27年度実施事業（効果検証対象事業）

1 対象事業

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）

15事業 70,519千円

※ 国の補助率 10/10

※ 地方創生先行型は、地方公共団体が実施する地方創生に関する優良施策に対して、国が支援。
地方版総合戦略に盛り込まれることを想定とした事業。

2 効果検証の結果

- (1) 検証体制 地域創生推進市民会議
- (2) 検証時期 平成28年7月15日（金）
- (3) 検証事業数 15事業
- (4) 検証結果 概要は以下のとおり。

○事業効果

- ・非常に効果があった-（KPIの達成度合いが90%以上）- 10事業
- ・相当程度効果があった-（KPIの達成度合いが80%以上）- 1事業
- ・効果があった-（KPIの達成度合いが80%未満）- 4事業

○今後の方針

- ・事業内容を拡充して継続実施 - 1事業
- ・現在の内容どおり継続実施 - 9事業
- ・事業内容を見直して継続実施 - 2事業
- ・（予定通り）事業完了 - 3事業

○事業の評価

- ・KPI達成に有効であった - 15事業

平成 28 年度実施事業

① 地方創生加速化交付金

実績 11 事業 49,507 千円

※ 国の補助率 10/10

※ 推進交付金に先立ち、地方版総合戦略に位置づけられた事業のうち、1 億総活躍社会の緊急対策にも資する効果発現の高い分野が主な対象。

※ 1 市町村あたり 2 事業（広域連携型を除く）、交付額は 4～8 千万円を目安。

② 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）

実績 3 社 1,000 千円（対象事業：喜多方田舎暮らし支援プロジェクト）

※国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対し企業が寄附を行った場合に、寄附額の 3 割を法人関係税から税額控除する仕組み。

③ まち・ひと・しごと創生基金

実績 29 事業 88,875 千円

平成 29 年度実施事業

① 地方創生推進交付金

実績 1 事業 3,982 千円（実績額）

※ 国の補助率 1/2

※ 推進交付金は、地域再生計画に記載された、地方版総合戦略に基づく地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業（先駆タイプ、横展開タイプ、隘路打開タイプ）を、複数年度にわたり安定的・継続的に支援。

② 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）

実績 1 社 1,000 千円（対象事業：ものづくり企業等経営基盤強化支援プロジェクト）

※平成 28 年度実施事業参照。

③ まち・ひと・しごと創生基金

実績 33 事業 152,394 千円（実績額）

平成 30 年度実施事業

① 地方創生推進交付金

実績 2 事業 2,660 千円

※平成 29 年度実施事業参照。

② 地方創生拠点整備交付金

実績 1 事業 37,172 千円

※国の補助率 1/2

※「生産性革命」等に向けて、地方公共団体の地方版総合戦略に基づく自主的・主体的な地域拠点づくりなどの事業について、地方の事情を尊重しながら施設整備等の取組を支援。

③ 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）

実績 1 社 3,000 千円（対象事業：ものづくり企業等経営基盤強化支援プロジェクト）

※平成 28 年度実施事業参照。

④ まち・ひと・しごと創生基金

実績 32 事業 160,257 千円

平成 31 年度実施事業

① まち・ひと・しごと創生基金

実施中 27 事業 145,428 千円（予算）

【これまでの総合戦略の取組による成果】

人口減少について、自然動態の改善の基礎となる出生数が上向いていないものの、社会動態、とりわけ若者（0～39 歳以下）の定着や他地域から呼び込むことに関しては、奨学金償還支援、「住むなら喜多方！若者定住促進事業」、「喜多方田舎暮らし支援事業」、地域おこし協力隊制度の活用などが複合した効果をあげている。

また、定量的な評価は難しいが、『喜多方っ子の「夢」実現事業』については、市内全小学 6 年、全中学 3 年生の人づくりやキャリア教育といった観点からポジティブな効果が表れていると考えられる。

KPI の進捗に関しては、期待どおりの数値になっていないところもあるが、単年度ごとの活動指標を着実に達成し、中長期的な視点での評価、また KPI の設定が適切だったのかといった視点で、次期総合戦略に活かしていきたい。